

# 郷中だより

令和元年 10月2日  
倉敷市立郷内中学校長発行  
学校だより 第 14 号

## 備南東地区新人体育大会 ソフトテニス

備南東地区のソフトテニスの新人戦が9月28日(土)から福田公園で行われました。前日まで雨天を心配していましたが、当日は晴れて日差しも強く、時折強く吹く風の中で、選手の皆さん、よく頑張りました。保護者の皆さんの応援もありがとうございました。3年生が引退し新メンバーでの大会でしたが、練習とは違う雰囲気の中で、思うように力が出せなかった悔しさや、ナイスプレーができて嬉しかったことなどを次の大会に生かしていきましょう。



## ある朝のできごと

9月下旬の朝7時40分ごろ、校長室にいつもの部活動の元気な声に混じって、校歌が聞こえてきました。声の主をたどっていくと、体育館前で女子バレー部、3階廊下で吹奏楽部が歌っていたのでした。1階と3階で同時にお腹の底から声を出して歌っていたので、聞いていて気持ちよく、朝から元気をもらいました。ありがとう！



そのあと少しして、登校してくる生徒たちと、正門で朝のあいさつをしたり、短い会話をしたりしながら、癒しの時間を過ごしていました。

その中で、ある生徒が、「体育会の練習もクラスで協力するのに時間がかかったから、合唱練習もたいへんかも。でもなんとかなる!」と言いながら笑顔で去って行きました。

2学期は学校行事や部活動の大会など、勉強以外にたくさんのお話をしなければならぬので、休日も含めて時間配分がたいへんだと思います。しかし、この生徒の言葉から、次のような心の声を読み取れました。「①体育会の練習に時間をかけてクラスで取り組んだ！ ②協力するために頑張った！ ③合唱も協力するぞ！ ④このクラスのみんなとなら、きっと成功する！」これこそが、まさしく学校行事の目的であり醍醐味ではないでしょうか。

行事そのものを行うことが目的ではなく、話し合い、練習、準備の段階で、対立はあるかもしれませんが、「どうやったら、全員が楽しく盛り上がるかな」と知恵を出し合いながら最後まであきらめず考え、練習していく。その中で、友だちの別の一面が見えたり、「自分とは違う意見だけど、そんな考え方もあるんだな」と認め合ったりできるようになる。その試行錯誤こそが大切で、価値があることです。行事を通じて、そんな柔軟な心を養ってほしいと思います。

10日後の合唱コンクールに向けて、どのクラスからも「歌いたい」という思いがあふれだし、自然発生的に歌声が聞こえてくるといいですね。